

中野中学校 学校だより

楽しい楽校、支え合う合 校、そして自ら学ぶ学校

第74期中野中学校卒業生

ご卒業おめでとうございます

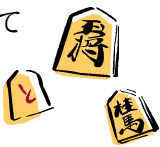


「才能とは努力を継続する力」

校長 菊地原 宏明

将棋を仕事にする人を「棋士(きし)」と言います。有名な棋士に羽生善治さんがいます。羽生さんは「将棋の神様」と言われている人です。中学時代にプロ棋士となり、高校時代を八王子市内の都立高校で過ごしました。

羽生さんは棋士として初めて国民栄誉賞を受賞しました。現在50歳ですが、25歳で初の7つのタイトルを全てとった才能豊かな人で「天才」とも言えます。羽生さんは将棋をさす時「直感を信じて」行うそうです。しかし「直感」と言ってもくじを当てるようなものではありません。その「直感」とは今までの自分の経験を全部集めて、その中から出てきたよい考えやひらめきのことなのです。

「『直感』はたくさんの経験を積んで初めて出てくるものだ」と羽生さんは語っています。皆さんは、これからたくさんの人と出会い、たくさん
のことを経験することでしょう。一つひとつの経験を大切に、積み重ねて、一人ひとりがもっている「直感」をぜひ磨いていって欲しいと思います。

ところが羽生さんが「直感」より大切にしていることがあるというのです。

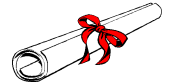
それは「努力を積み重ねること」です。「才能とは『直感』だけでなく、『努力』を積み重ねることである」とも羽生さんは言います。

「直感」は無理だけでも「努力」なら誰でもできそうだった人はいるかもしれません。羽生さんは30年間毎日、何十時間も将棋を続けています。毎日あたりまえのことをあたりまえ

(生徒・保護者・地域のみなさんへ)

令和3年3月4日(木)発行

第20号



相模原市立中野中学校 ☎ 042-784-1240

HP <http://www.sagamihara-nakano-j.ed.jp/>

のようにこつこつと続けてられること、同じペースで続けることができる事はそれはものすごい事だと思います。

「私は羽生さんのように天才じゃないからできない」とあきらめないで、是非続けられることを見つけて欲しいと思います。毎日、少しずつ努力をすることを続けてください。今すぐに、なりたい職業や続けたいことが見つからなくても決して焦ることはありません。普段からやれることでもかまいません。毎日、日記を書くこと、音読する、歌を歌うこと、走ること、本を読むこと、単語を覚えること…。すぐにあきらめたり、いやになったりしないでください。

「才能とは、一瞬のひらめきやきらめきではなく、情熱や努力を継続できる力だ」

この言葉を胸に、自分の力を信じて、努力を積み重ねることができる人になって欲しいと思います。

「チーム中野中学校第74期卒業生の皆さん」ご卒業おめでとうございます。

生徒と保護者の連携その1「あいさつ運動」 +「交通安全見守り」= あふれる笑顔！

2/3(水)~2/5(金)始業前、生徒会福祉委員会の「あいさつ運動」が行われ後期委員である1・2年生で取り組みました。この活動には、生徒会本部



役員も加わり生徒玄関付近を掃き掃除する「清掃ボランティア活動」も実施しました。



また、2/4(木)にはPTA校外生活委員会の活動として今年度これまで実施できなかった「交通安全の

生徒登校見守りとあいさつ運動」を同時刻、津久井合同庁舎付近の横断歩道で行いました。

2学期末から3学期当初まで2年生の学級委員が中心となり「学級内あいさつキャンペーン」を繰り広げてきた成果も加わり朝の全校生徒の活発なあいさつは「あいさつNo.1の中学校」として誇ることができるほどになっています。「飛び交う挨拶、あふれる笑顔」が実践されています。

生徒と保護者の連携その2「生徒会本部役員がPTA会長と語る時間」

1/27(水)昼休み、生徒会本部役員が「PTA会長と語る時間」を実施しました。コロナ禍における緊急対策として生徒会本部の試みです。

生徒会本部役員の方々は、「中野中をもっと良くしたい」と日頃より考えていますが、その中で生徒の力だけでは解決できない課題もあります。大塚和夫PTA会長にご来校いただき、その課題を解決するためのアイデアについて教えていただきました。課題は体育館のトイレ改修です。体育館を利用する3つの部活動の部長より改善して欲しいという願いが生徒会意見箱に寄せられています。すぐに解決できる内容ではありませんが、生徒会本部の方々は解決の糸口を探ることができたようです。



キャリア教育「10年後の自分のキャリア」2年・1年職業インタビュー発表会

1/8(金)2・3校時、2年総合的な学習の時間では「10年後の自分：職業インタビュー発表会」



を行いました。冬休みの宿題として家族を中心に自分の興味ある職業を調べ発表するものです。各発表は、家族に職業インタビューした内容だけではなく、働くということ、職業とはなにか、自分の将来を展望した素晴らしい内容でした。また職業をしらべさせてもらった家族に改めて、尊敬の念やありがたさを感じたという発表もありました。

また1年総合的な学習の時間でも「身近な人へ

の職業インタビュー発表会」を行いました。冬休み中に家族を中心に身近な人への職業について調べ、一人1分を目安に各学級での発表をしました。発表し合う中で初めて聞く「仕事」もあったようで、各自が発表内容を書く「ひとこと感想」に勉強になったことが書かれていました。



1年総合的な学習

「記憶に残る……！」大会・発表等の結果について

それぞれの作品等が、見ている人達の「記憶に残る」素晴らしい内容です。

☆令和2年度中野中学校校内書き初め展

○「3年金賞」八木涼花さん、平尾めいさん 「2年金賞」向山海晟さん、川崎滯さん、本田唯琴さん「1年金賞」山口珠季さん、綿貫湊心さん

○「3年銀賞」相川瑠香さん、岡井菜実さん、西川萌乃香さん「2年銀賞」榎府玲菜さん、鈴木遥翔さん、若林苺花さん「1年銀賞」田中花波さん、田中悠愛さん、熊澤歩未さん、中野玲夢さん

○「3年銅賞」藤原るりさん、梶原真緒さん、武居伶珠さん、山口愛佳さん、有泉暖花さん「2年銅賞」佐野希香さん、岡本虹果さん、深沢美里さん「1年銅賞」長野美嘉さん、八木みりのさん、盛島美織さん、小嶋美咲さん、中島蒼衣さん、柳川もかさん

☆第41回ホームソーイング小中高校生作品コンクール

：清水結衣さんの「パッチワークバッグとうさぎのぬいぐるみ」作品：「努力賞」受賞



「日本縫製機械工業会主催」

これからの主な予定(3月/4月)

3月・11(木)令和2年度卒業証書授与式

・16(火)委員会・17(水)1・2年給食集金

・18(木)評議会・19(金)給食終了

・22(月)23(火)24(水)弁当持参

・24(水)学年集会、大掃除(ジャージ登校)

・25(木)修了式、離任・退任式

・26(金)～学年末・始休業4/4(日)

4月5日(月)始業式、入学式(午後)

あとがき 第74期卒業生の皆さんの「未来」に大いなるエールを送ります。

